

# Relationship

JTSU-E Shinagawa Mail News



JTSU-E 品川支部  
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-SHINAGAWA

2022.5.15  
NO.042

## 沖縄復帰50年

5月15日、沖縄が日本に復帰して50年が経ちました。国土面積の0.6%の沖縄県に7割の米軍基地が集まり、本土と比較しても明らかに過大な基地負担を抱え、騒音や環境汚染、米軍人らの事件事故が相次ぎ、未だ沖縄の人々は苦しんでいます。沖縄の歴史を振り返ると、もともと琉球王国という1つの国でありましたが、日本政府が占領し、沖縄県を設置しました。そして太平洋戦争が始まると米軍が沖縄に上陸し、唯一地上戦が行われ、県民の4人に1人が亡くなり、本土防衛線の「捨て石」とされました。終戦後沖縄は米施設下におかれ、20年後ようやく日本に復帰しました。沖縄が基地負担が「本土並み」に軽くなることを期待し、復帰から半世紀が経ち、本土の米軍基地は縮小されましたが、沖縄だけが未だ多くの基地が存在し、更には辺野古新基地建設と負担を強いられ今日に至っています。沖縄は日本でありながら日本でない、日本国憲法より日米地位協定が優先され、そのことにより構造的差別が生まれ、基本的人権や民意が日本政府によって踏みにじられています。またウクライナの危機に乗じて、岸田政権は「憲法改正」「対基地先制攻撃能力」の保有、自衛隊と米軍の「共同作戦計画」を策定し、「台湾有事」に備え、南西諸島に自衛隊のミサイル基地建設や軍事要塞化が進められようとしています。

沖縄・南西諸島を再び戦場にさせてはなりません。武力では平和はつくれません。沖縄に「真の復帰」を果たすために、基地のない平和な沖縄を、日本全体で考えていかなければなりません。

命  
ど  
う  
宝

沖縄の問題は沖縄だけではなく、本土にいる私達の問題でもあります。これ以上沖縄だけに負担を強いるのは果たして良いのでしょうか？復帰から半世紀、考えて見てください